

来月の消費予報

**ボーナスを期待する声が前年よりやや多く、金銭的不安は緩和。
しかし、節約意識も根強く、消費行動につながるかは不透明**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

6月の消費意欲指数は47.5点で、前月比は+1.8ポイント。ボーナスによる金銭的余裕が生まれることを期待しての意欲アップですが、ゴールデンウィークに出費した反動で節約意識も高まっており、実際の消費行動につながるかは不透明です。

6月の消費意欲指数



↑ 前月比 1.8 ポイント

↑ 前年同月比 1.9 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意向



* UP : 前月比で3ポイント以上の上昇 ● DOWN : 前月比で3ポイント以上の下降

「来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。※詳細は4ページ

6月のポイント

Point 1 : ボーナス月で金銭的不安が緩和し、消費意欲指数は微増

ボーナスがある6月消費意欲指数は前月比で+1.8ポイントと微増です。消費意欲の理由(自由回答)を見ると、「ボーナスがあるのでなんか買いたい」などボーナスに期待する声が前年同月より微増(15年6月38件→16年6月45件)。「金銭的に余裕がある」という声も前年同月よりやや増えています(15年6月55件→16年6月61件)。一方、「金銭的な不安で節約する」声は、前月や前年同月より減少(15年6月180件→16年5月166件→16年6月131件)しており、金銭的な余裕が生まれることを期待して、消費意欲が僅かに上昇したようです。

Point 2 : ただし、節約意識も根強く、意欲が実際の消費につながるかは不透明

消費意欲指数が微増し、消費にポジティブな声も増える一方、「ゴールデンウィークに使いすぎたので、6月は出費を控える」といった声も目立ちます。5月までに出費した反動で節約する声は前年同月より増加(15年6月140件→16年6月174件)。ボーナスで金銭的に切迫していない状況とはいえ、ゴールデンウィークから立て続けに出費をすることには抵抗があるようです。このような節約意識が根強く、6月は、意欲があっても実際の消費行動につながるかは不透明です。

Point 3 : 節約意識に男女差。男性は一段落し、女性は依然気を緩めず

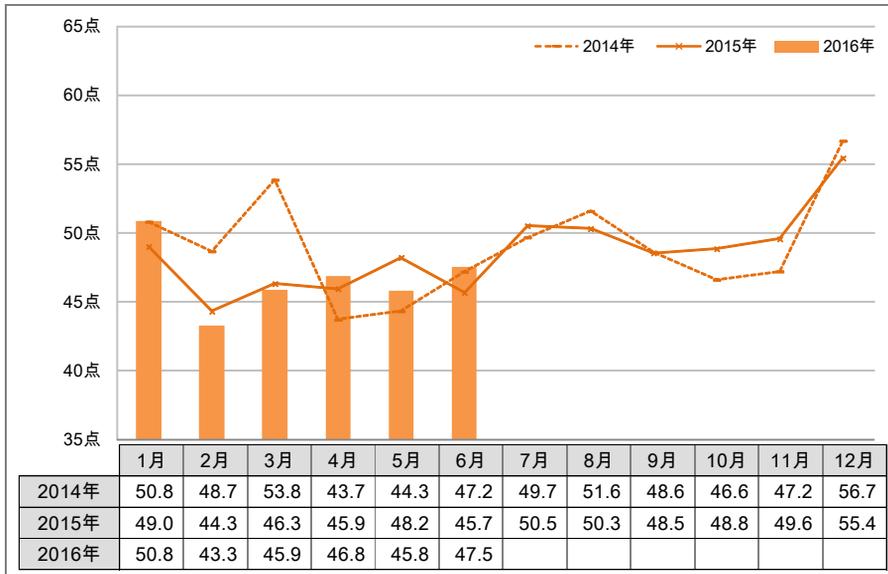
性別で比べると、男性の方が消費意欲指数が伸び(前月比:男性+2.5ポイント、女性+1.0ポイント)、6月としては直近3年間で最高値となっています。自由回答では、「他の出費予定があるので我慢する」や「金銭的理由で節約する」という声が、男性は前月から減少(5月231件→6月218件)。一方の女性はむしろ増えており(5月253件→6月264件)、男性がボーナスで少しほっとしていても、女性は依然として気を緩めていない様子が見えます。

消費意欲指数

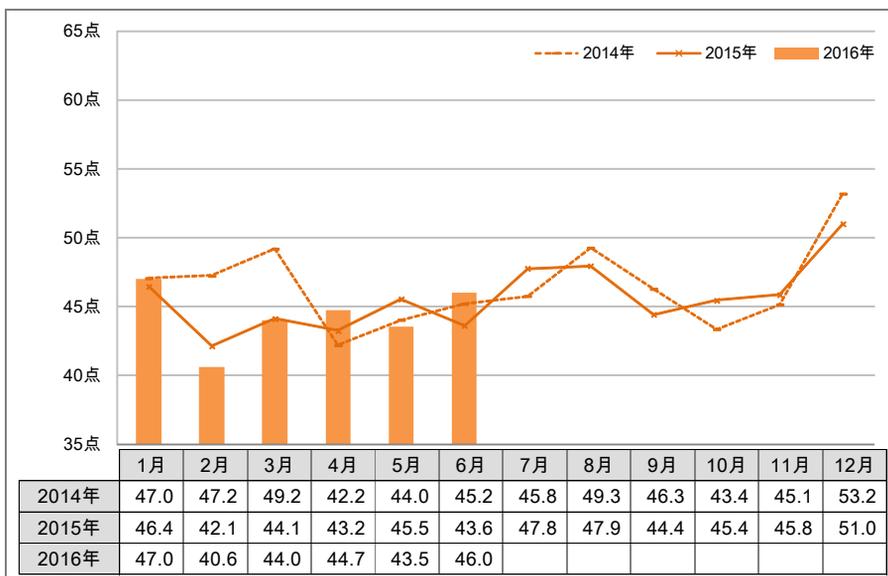
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

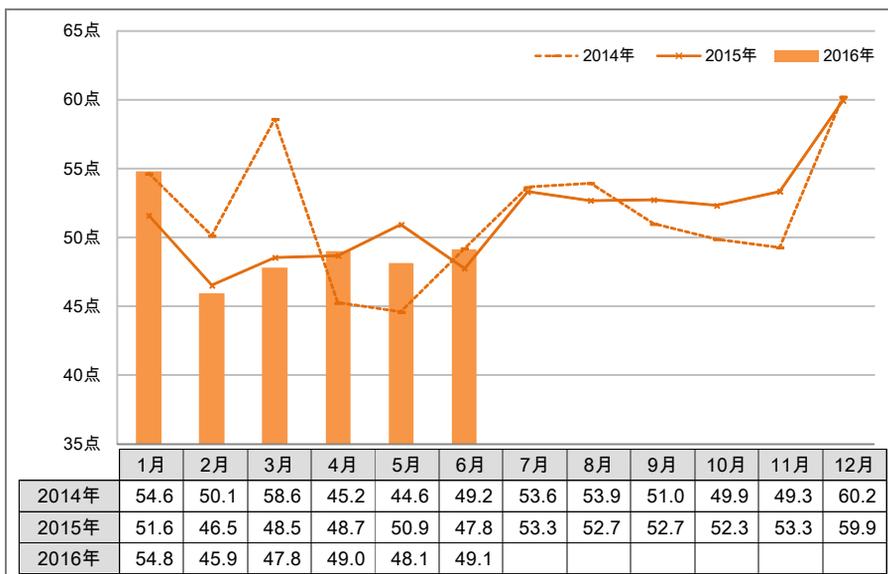
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

「金銭的に余裕がある」に関する生活者の声

- ・ボーナスが入るため (100点・男性21歳・愛知県)
- ・ボーナスが入るので少しくらい使ってもいいと思う (60点・男性32歳・埼玉県)
- ・ボーナス月だから (90点・男性43歳・奈良県)
- ・ボーナスがあるので、オーディオ環境をよくしたい (70点・男性56歳・東京都)
- ・ボーナス月であり、ご褒美に買いたいものがある (80点・男性61歳・愛知県)
- ・ボーナスが出るから (100点・女性25歳・東京都)
- ・6月にはたくさんお金が入りそうだから (90点・女性38歳・愛知県)
- ・ボーナス月ということを考慮すると、他の月より消費意欲は高まりそう。実際、購入が決まっている商品もある (75点・女性48歳・兵庫県)
- ・あまりお金は使いたくないが、ボーナスが入るので気が緩みそう (50点・女性52歳・東京都)
- ・ボーナスだから周りの雰囲気もりあがるから (100点・女性61歳・大阪府)

「今月までに多く使ったので節約」に関する生活者の声

- ・GWでお金を使ったのと、夏に向けてお金を残しておきたいから、あまり消費意欲が高まらないと思う(40点・男性28歳・東京都)
- ・5月に買い物予定があり、その反動で控える (13点・男性28歳・大阪府)
- ・昨年年末から予定外の出費が多いから (20点・男性40歳・愛知県)
- ・4,5月は固定資産税、自動車税があり消費に回す金は無い (0点・男性51歳・千葉県)
- ・GWで浪費し過ぎたため (35点・男性64歳・岐阜県)
- ・今月までにいろんなものを買ったから (20点・女性28歳・兵庫県)
- ・5月は連休もある使う事が多いが、6月は特にイベントがない (40点・女性37歳・大阪府)
- ・GWに旅行、ショッピング、外食といろいろと楽しめたので、来月は無駄遣いせずにが目標 (40点・女性40歳・愛知県)
- ・GWの出費が大きかったため、来月の消費は控えめにしたい気持ち強い (30点・女性51歳・東京都)
- ・5月に国内旅行でかなりの出費が予想される。多分その反動で6月の消費意欲は格段に低下すると思う (30点・女性65歳・神奈川県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2016年6月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	25.3	-1.5	-0.8
男性	22.3	-3.1	-3.9
女性	28.3	+0.1	+2.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(379人)

順位	カテゴリー	6月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	57.3	+10.8
2	食品	39.3	+4.0
3	外食	38.5	+1.4
4	飲料	31.4	+6.8
5	書籍・エンタメ	29.8	+2.7
6	旅行	28.2	-11.4
7	理美容	27.4	+11.7
8	化粧品	25.9	+7.0
9	レジャー	24.3	-1.3
10	家電・A V	23.7	+4.0
11	日用品	23.2	+6.8
12	パソコン・タブレット・周辺機器	15.3	+2.4
13	装飾品	14.8	+0.9
14	インテリア用品	13.7	+1.8
15	車・バイク	12.7	+4.7
16	スマートフォン・携帯電話	9.5	-0.2

【男性】(168人)

順位	カテゴリー	6月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	42.9	+9.6
2	書籍・エンタメ	36.3	+4.5
3	食品	32.7	-0.1
3	外食	32.7	+5.6
5	家電・A V	30.4	+4.9
6	旅行	26.8	-10.2
7	パソコン・タブレット・周辺機器	26.2	+6.4
8	飲料	25.0	-0.5
9	レジャー	21.4	±0
10	車・バイク	20.8	+7.8
11	スマートフォン・携帯電話	15.5	+4.0
11	日用品	15.5	+3.5
13	装飾品	14.9	+3.4
14	理美容	11.9	+6.7
15	インテリア用品	11.3	+6.6
16	化粧品	5.4	+2.3

【女性】(211人)

順位	カテゴリー	6月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	68.7	+10.1
2	食品	44.5	+6.9
3	外食	43.1	-3.1
4	化粧品	42.2	+8.9
5	理美容	39.8	+14.6
6	飲料	36.5	+12.7
7	日用品	29.4	+8.9
7	旅行	29.4	-12.5
9	レジャー	26.5	-3.0
10	書籍・エンタメ	24.6	+1.7
11	家電・A V	18.5	+4.2
12	インテリア用品	15.6	-3.0
13	装飾品	14.7	-1.5
14	パソコン・タブレット・周辺機器	6.6	-0.1
15	車・バイク	6.2	+2.9
16	スマートフォン・携帯電話	4.7	-3.4

：前月比で3ポイント以上の上昇

：前月比で3ポイント以上の下降

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	119	154	187	140	155	755
女性	114	150	181	138	162	745
合計	233	304	368	278	317	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2016年5月6日(金)～10日(火)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(菅・内濱) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2016-06/>)からダウンロードしていただけます